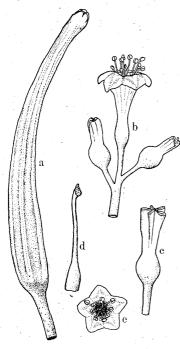
O小笠原島産ノうどのきニ就イテ

Pisonia Nishimurae Koidzumi in Bot. Mag. Tokyo 32 120 (1919) ハ引用標本トシテ"leg. M. Yai! S. Nishimura!" が舉ゲテアル。コノ中後者ハ今東大標本室=見當ラナイガ前者ハ屋井琢氏採集ノモノヲ兒玉親輔氏が東大ニ寄贈サレタモノデアル。 之ニハ小泉教授ノ手書デ Pisonia Nishimurae Koidz. トアリ、又原記載文ト細イ點マデョク一致スルノデ、Type specimen デアル事ハ間違ナイ。原記載文中問題トアル點ガ2個所アル。



a. 果實(×ca. 1). b. 雄花序ノ一部 (×ca. 2). c. 蕾(×ca. 2). d. 雄花 ノ雌雄(×ca. 4). e. 雄花ノ上面觀 (×ca. 2). (皆アルコール演標本ヨ リ描ク).

即チ 1) "Folia····apice rotundato-emarginata " 及ビ 2) "Anthocarpia elongata vel globosa baccata · · · apice perianthii lobis erectis coronata····" デアル*2) = 就イテハ小泉教授ガ Type specimen ノ臺紙上= "Insect gall ナリ" "4. IX. 1919 小笠原ヨリフォルマリン 漬到着シ之 ヲ知ル (G.K.)"ト書カレタノヲ見テ明カナ様ニコ ノ植物ノ果實ノ正常型デハナイ事ガ判ル。1) =就 イテハ小笠原島デ採集サレタ多クノ標本ヲ見ルト、 寧ロ特別ナ場合ヲ示シテ居ル様デアツテ『Folia apice obtusa vel obtuso-acuta vel obtuse cuspidata vel obtuse breviterque acuninata] } 書き改メル方ガヨイ。即チ Type specimen ハ葉 ト果實ノ型=於テ異常ノモノデアル事ガ判ル。若 シコノ異常ナ所ヲ取リ去ツテ考ヘルトコノ標本ハ Pisonia umbellifera SEEMANN ト違ハナイ事ニナ ル。type specimen ハ雌本デアツテ penicillate シタ雌蕋ハ超出シテキル。小生ガ1935年 11 月母 島ノ石門山デ採集シタモノヲアルコール 漬ニシテ 居タノデ、念ノタメニソノ花ト果實ヲ圖示スル。 花ハ雄性ノモノ許デ、雄蕋ハ長ク超出シテ、雌蕋 ハ短ク且柱頭ハ傾斜シテ卵形ノ小盤狀ラナス。 Pisonia umbellifera ハ四瓣ノ事ガ多イガ小生ノハ 10 個調ベタ中、全部五瓣デアツタ。雄蕋ノ數ハ 6

個=就イテ調ベタモノガ夫々 9, 10, 11, 11, 12, 12 本ヲ有シテキタ SKOTTSBERG²⁾ノ 説ニョルト 9 本カラ 11 本迄アリ普通 10 本トノ事デアルカラ少シ数ガ多イ様デアル。果實ハアルコール漬ノ 8 個ノ中 6 個ハ4 角他ハ 5 角デアツタ。ココニ掲ゲタ圖ハ SKOTTSBERG*ノ圖ト必ズシモ完全ニハ一致シナイ。コレハ小笠原島産ノモノハ殆ンド全部ガ蟲嬰ノ影響ヲ大ナリ小ナリ受ケテキル為ト思フ。圖中 b ノ花序ノ左右ノ蕾ハ明カニ蟲嬰ニナリ初メテキルシ、中央ノモノモ或ハ多少影響サレテキルカモ知レナイ。c ハ開キカケタ蕾デアルガ

コレモ又蟲嬰ニ犯サレテ畸形ヲ示シテキル。

和名うどき (小泉、1919) ハ小泉教授ガ type specimen ノラベルノ上= "ゥドキ (方言)"ト書イテ居ラレル様=方言ニョツタモノデアル。實際、小笠原島デハうどのき、うど、soft wood (歸化人ノ間デ) 等ト言ツテヰル。明治 21 年 1 月發行ノ磯村貞吉: 小笠原島要第二ハ "獨活ノ木洋名そふとうど父島山中=多シ常緑ニシテ巨木アリ、葉ハ柳葉=似テ薄ク大サ 7,8 寸許=至ル。面ハ緑色背ハ淡青ニシテ對生ス。枝頭=花梗ヲ抽テ細小白色ヲ攅開ス花後朔ヲ結ブ。小圓ナルモノト相雑ル朔ハ即チ子實ニシテ中ニ 種子アレドモ小圓ナルモノニハ中ニ小蛆アリ。意フニ蟲ノ咀嚼スル所ナルベシ。櫟ノ稍頭圓塊ノ類ナラン此ノ樹極メテ長茂聳喬シ幹モ亦太ク 徑數尺=至ルモノアリ。材質ハ粗鬆ニシテ水分脱スレバ輪層離解シテ連續セズ。故=材用=供シ難シ。島民漫リニうどノ大木ト 稱ス蓋シ 巨樹ニシテ用ナキノ意ニ 出デシナルベシ然レドモ 層片ヲ紛帶トシ庇ロヲ緊壓スルニ効アリ。此樹鬯長スル土地ハ肥沃ノ徴ナリトテ島民開拓スルニ常ニ此樹ノ所在ヲ擇ムト云フ。"トアリ、ヨクコノ木ノ全貎ヲ紹介シテヰル。臺灣デハ水冬爪ト言フ由デアル。りうきうあをき(金平教授:臺灣樹本誌第一版、1917) ハあかね科ノ同名ノモノ=牴觸スル。おほくさぼく(早田教授:臺灣植物圖譜 6 卷 附錄、1917)ながみのうどのき(金平教授:南洋群島植物誌、1933)モ同ジモノ=名附ケラレタ。

小笠原島デハ聟、媒、兄、弟、父、母、向ノ諸島ノ 濕氣ノ多イ森林中ニアル。旺噶喇島(寶島、北限?) 先閣群島、石垣島、紅頭嶼、恒春半島、ミクロネシア(サイパン、パラオ、ペリリウ、アンガウル、トラツクノ諸島)、プラタス島、フェリッピン、ジヤバ、スマトラ、サモア島、ハワイ、タンナ島(Type locality)等=廣ク分布シテキル。SKOTTSBERG¹⁾²⁾ ハ Ceodes umbellifera FORSTER ノ type specimen ヲ調ベタ上デ、コノ學名ヲ再認シタ。小生モコレニ賛成シテスル。Calpidia Nishimurae (Koidz.) Rehder et Wilson³⁾ ヘノ組合セハ属ノ命名上 Heimerl⁴⁾ ノ取扱ヒニ隆ツタモノデアル。

1) The Arboreous Nyctaginaceæ of Hawaii in Särtr. Svensk Bot. Tidskr. 30-3 (1936). 2) Hawaiian Vascular Plants I. in Med. fr. Göteb. Bot. Trädg. 2 (1926). 3) Journ. Arn. 1-2 (1919). 4) Über die Nyctagnaceen-Gattang Calpidia in Oesterr. bot. Zeitschr. 68-1 (1913); Die Nyctaginaceen-Gattung Calidia und Rokia in Oesterr. bot. Zeitschr. 63-7 (1913). (津山 尚)

マンティクマメ O小笠原島ノ横着豆ニ就イテ

小笠原島ノ中硫黄島デ横着豆ト稱シテ栽培シテキル豆ハあふひ豆 Phaseolus lunatus L. デ、久内清孝氏が上ニ月豆トシテ解説シテキルモノデアル。同島デハコノ豆ヲ播ィテ置ケバ芳セズニ収穫が上ルカラ斯ク名ヅケタモノデアルト言フ。小笠原産ノモノノ豆ノ色ハ褐色(和田三造: 色名帖、とびちゃいろ―とびいろ)ノ濃淡種々アリ、ソノ上ニ更ニ黑褐色(同上、とげちゃいろ)不規則ナ斑點ノアルモノカラ、全然ソレが無イモノ迄ノ移リ變リガアル。英名ハ Lima bean デ Rock ノ Leguminaus Plants of Hawaü ニ立派ナ寫眞が